



平成 26 年 9 月 13 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 26 年 8 月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 26 年 8 月度の月次受注残高情報を開示いたします。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
F P D分野	56	34.3%	△16.5%	16.7%
半導体分野	94	57.4%	21.1%	76.8%
その他分野	13	8.4%	△56.1%	—
合計	163	100.0%	△7.0%	60.9%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	H25.9月	10月	11月	12月	H26.1月	2月
F P D分野	52	72	68	62	39	8
半導体分野	53	59	64	63	67	72
その他分野	4	29	64	121	219	191
合計	109	161	197	248	325	272

区分	3月	4月	5月	6月	7月	8月
F P D分野	49	47	58	71	67	56
半導体分野	70	80	84	89	77	94
その他分野	61	21	43	62	31	13
合計	181	149	186	222	176	163

3. 月次受注残高の概況

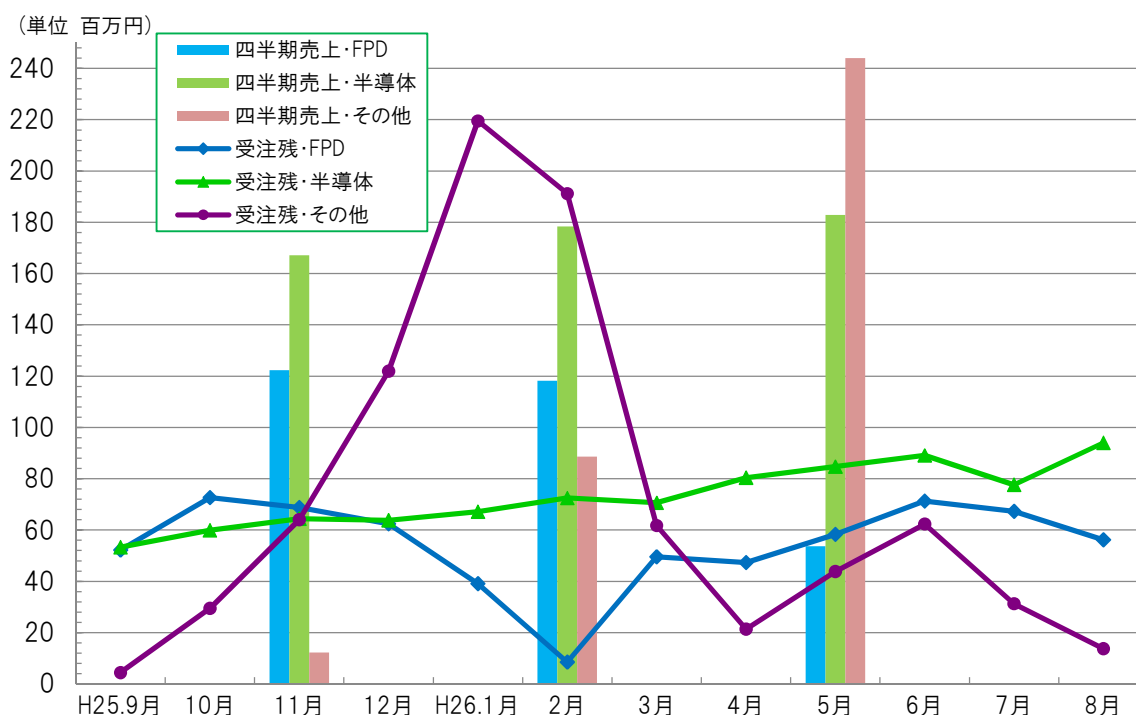
平成26年8月末の受注残高は、FPD分野においては、検収は好調に推移しながらも受注が伸び悩み、対前月増減率で16.5%減、対前年同月増減率では16.7%増の56百万円となりました。半導体分野においては、受注が回復したことから対前月増減率で21.1%増、対前年同月増減率では76.8%増の94百万円となりました。その他分野におきましては、出荷検収が進んだことで対前月増減率は56.1%減の13百万円となりました。これらの結果、平成26年8月末の受注残高は、対前月増減率7.0%減、対前年同月増減率60.9%増の163百万円となりました。

今後の見通しとしましては、FPD分野では、引き合いは出始めながらも、実際の受注が拡大し始めるのは年末近くとなる見込みであり、当面は低調な状態が続く見通しです。また、半導体分野では、主要な分野で回復基調が続くなか、受注品種の拡大も重なり多少の増減はありながらも受注高および売上高の増加傾向は続く見込みです。その他分野においてもリピート受注を継続的に確保できる見通しを持っております。

全般的には、概ね好調な市場環境が続くなかで売上高は高水準を維持しながらも、受注の内容が短納期品に偏っていることで、受注高は低減している状況です。このような環境のなかで、社内生産性の改善と協力企業との取引拡大により生産能力を高め受注拡大を目指します。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短い当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。